

日本赤十字社徳島県支部 創立130年を記念し 災害時活動用テントを寄贈



テント贈呈式でテントのレプリカを小松島地区赤十字奉仕団畠山委員長と濱田小松島地区長に手渡す徳島支部小森事務局長

日本赤十字社徳島県支部創立130年を記念し、7月12日、日本赤十字社徳島県支部より小松島市地区へ災害時活動用テントが贈呈されました。

贈呈されたテントは、力の弱い人でも組み立てが可能な軽量かつワンタッチ組立式のもので、災害対応として利用するほか地域の防災訓練などでの利用を計画しています。

100歳のお誕生日 おめでとうございます



たかくら ひろこ
高倉 廣子さん

高倉廣子さんが7月12日、満百歳の誕生日を迎えられ、濱田市長らが高倉さんの入院している病院を訪問し、祝い状や記念品を贈りました。

高倉さんは大正7年生まれで、建築家であった夫を満州で亡くし、薬剤師として働きながら娘2人を育てました。

終戦により満州から引き上げ時に経験された苦労は、今でも思い出話としてよく話されるそうです。現在は、家族での日帰り旅行などを楽しみながら過ごされているとのこと。

この日、2人の娘さんをはじめとするご家族や病院の職員さんに祝福された高倉さんは、「ありがとうございます」とお礼を述べられていました。

西日本豪雨災害被災地へ職員を派遣

6月28日から7月8日ごろまでに台風や梅雨前線の影響により西日本を中心とした記録的な豪雨により西日本各地で甚大な被害が発生し、今なお多くの方が避難生活を余儀なくされています。小松島市は、緊急消防援助隊徳島県隊の招集に基づき、市消防本部から後方支援部隊の隊員として、7月12日付で磯部真吾消防司令補、尾崎公彦消防士長、豊野義弘消防副士長、7月15日付で消防士長山崎達也、消防士下川智也、消防士廣澤巧成を広島県へ派遣したほか、徳島県を経由した総務省からの支援要請に基づき、避難所運営等支援として、行政職員の松田陽課長補佐、吉川貴大主事を7月13日付で愛媛県へ派遣しました。

本市では、今後予定されている保健師の職員派遣などを通して、被災地を支援していきます。



八幡将夫消防長より出発前の激励を受ける消防職員



濱田保徳市長より出発前の激励を受ける行政職員